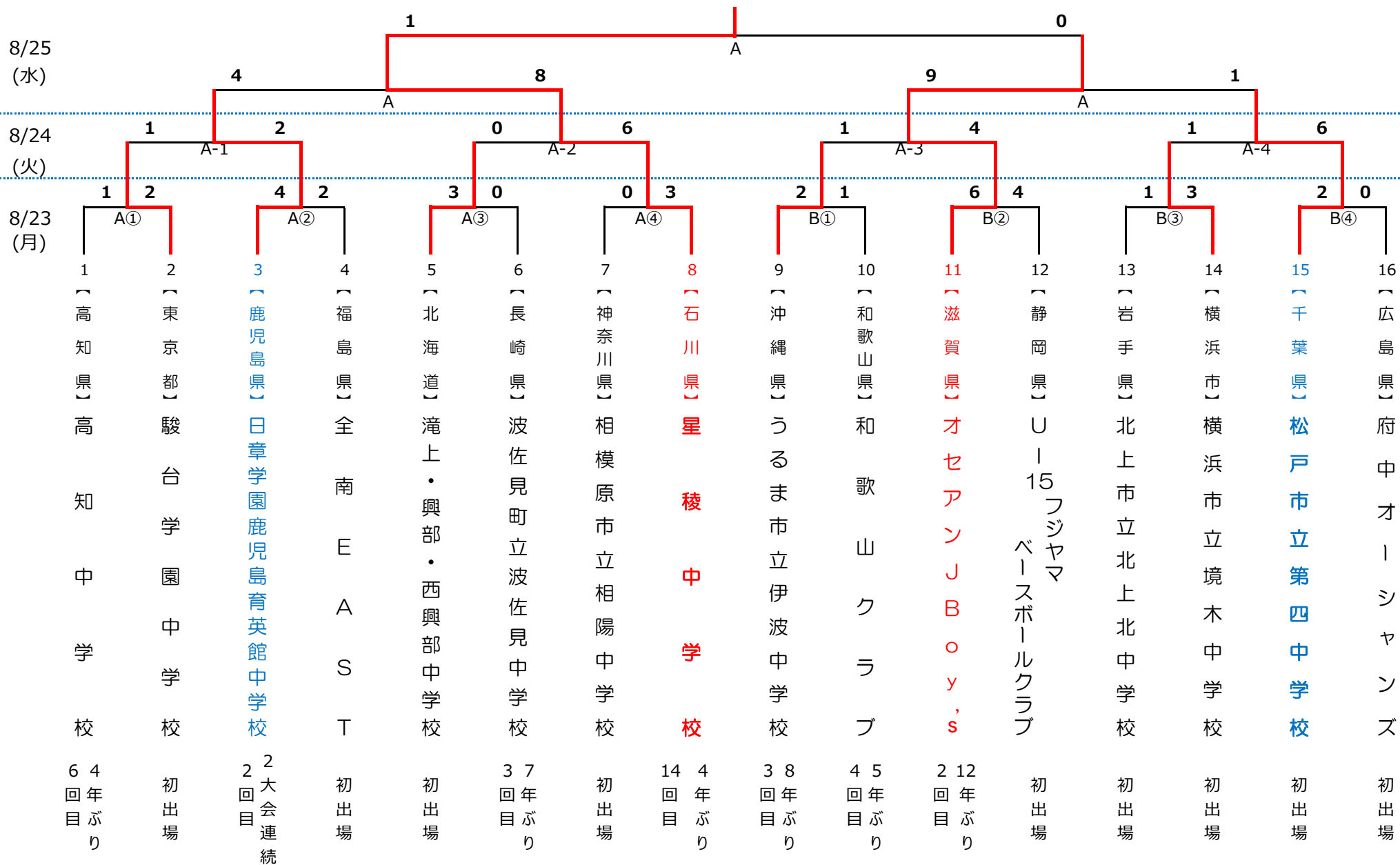


# 第38回全日本少年軟式野球大会

会期 令和3年8月23日(月)、24日(火)、25日(水) 三日間  
 会場 A:長崎県営野球場(ビッグNスタジアム)  
 B:佐賀県立森林公園野球場(さがみどりの森球場)



開始 12:45

所要 1時間27分 (給水タイム2分)

(審判) 百武(佐賀)、山下(長崎)、矢竹(諫早)、斎藤(諫早)

【一回戦】	A	③	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	打者	打数	安打	打点	盗塁	盗塁死	犠打飛	四死球	三振	残塁	失策
滝上・興部・西興部中学校(北海道)	3	0	0	0	0	0	0	0	0			3	29	24	6	3	2	2	1	4	5	5	0
波佐見町立波佐見中学校(長崎県)	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	30	25	8	0	1	0	2	3	5	9	1

初回の北海道は先頭の橋場が右中間二塁打。一死後に尾本の右前打で先取点。続く小森も2球目を左中間二塁打した二三塁に岡崎が2Bからの3球目を三遊間を抜く2点打。岡崎が二盗死後に藤原が遊ゴロ失。続く岡崎の時にディレード・スチールも一二塁間に挟殺。二回にも先頭四球から犠打二進と捕逸で二死三塁と攻めたが橋場は3B2Sの7球目を空振り三振。三回二死後に小森の左越え打は、ワンバウンドでフェンスを越えるエンタイトル二塁打。捕逸三進後に岡崎四球で好機を広げたが後続無し。五回にも先頭安打から高橋が二盗の二死二塁にこまめで二塁打の小森が申告敬遠の一二塁は三ゴロに終わった。

七回は代った杉本勇から一死後に橋場が四球出塁。二盗と二ゴロ三進し、尾本のOB2Sの返球時に本盗を仕掛けたが、投手からの送球で本塁死した。

3点差を追う初回の波佐見は、二者連続空振り三振の後、島内が初球を右中間二塁打するも4番の松田が遊飛。二回も二死後に井関の左前打に暴投二進後の四

【滝上・興部・西興部】	1	2	3	4	5	6	7
①61 橋場蒼太(興) (3)	右中三	Ⓚ	...	...	中安	...	B
⑥36 高橋龍矢(興) (3)	6-3	...	9F	...	1-4B	...	4-3
③23 尾本悠真(興) (3)	右安	...	3A	...	Ⓚ	...	...
②12 小森結斗(滝) (3)	左中二	...	左越二	...	IB	...	...
⑧ 岡崎瑞希(興) (3)	左安	...	B	...	5C	...	...
⑦ 藤原夏瑠(滝) (3)	6E	...	7F	...	...	4F	...
④ 岡崎 楓(興) (1)	...	B	...	2FF	...	K	...
4 浜田結芽(興) (3)	...	...	...	...	...	...	...
⑨ 田尾良太(西) (1)	...	1-3	...	Ⓚ	...	1-3	...
9 佐藤尋貴(滝) (3)	...	...	...	...	...	...	...
⑤ 高山創多(滝) (2)	...	1-3	...	Ⓚ	...	...	2F

滝上 = 5名(3年生 = 3、2年生 = 2)

選手18名 興部 = 8名(3年生 = 5、1年生 = 3)うち女子2名(3年生 = 1、1年生 = 1)

西興部 = 5名(2年生 = 3、1年生 = 2)

投手	北海道	投球回数	打者	投球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
橋場	6回	2/3	26	72	7	5	1	0	0
小森		1/3	4	13	1	0	2	0	0

球で一二塁としたが三ゴロ。三回には一死後に中前打の杉本が二死後に二盗を決めるも後続が無く。四回は先頭左前打の岳本が岩永の投前バントで二封後に井関の投犠打で二進するも後続が無し。さらに五回は一死後に投前バント内野安打の太田が杉本の三犠打で二進し、三塁も伺ったが一塁からの転送球で塁上死(併殺)。六回は島内の先頭安打も松田の遊ゴロが併殺打。その後岳本の中安打(代走高川)も後続無く。

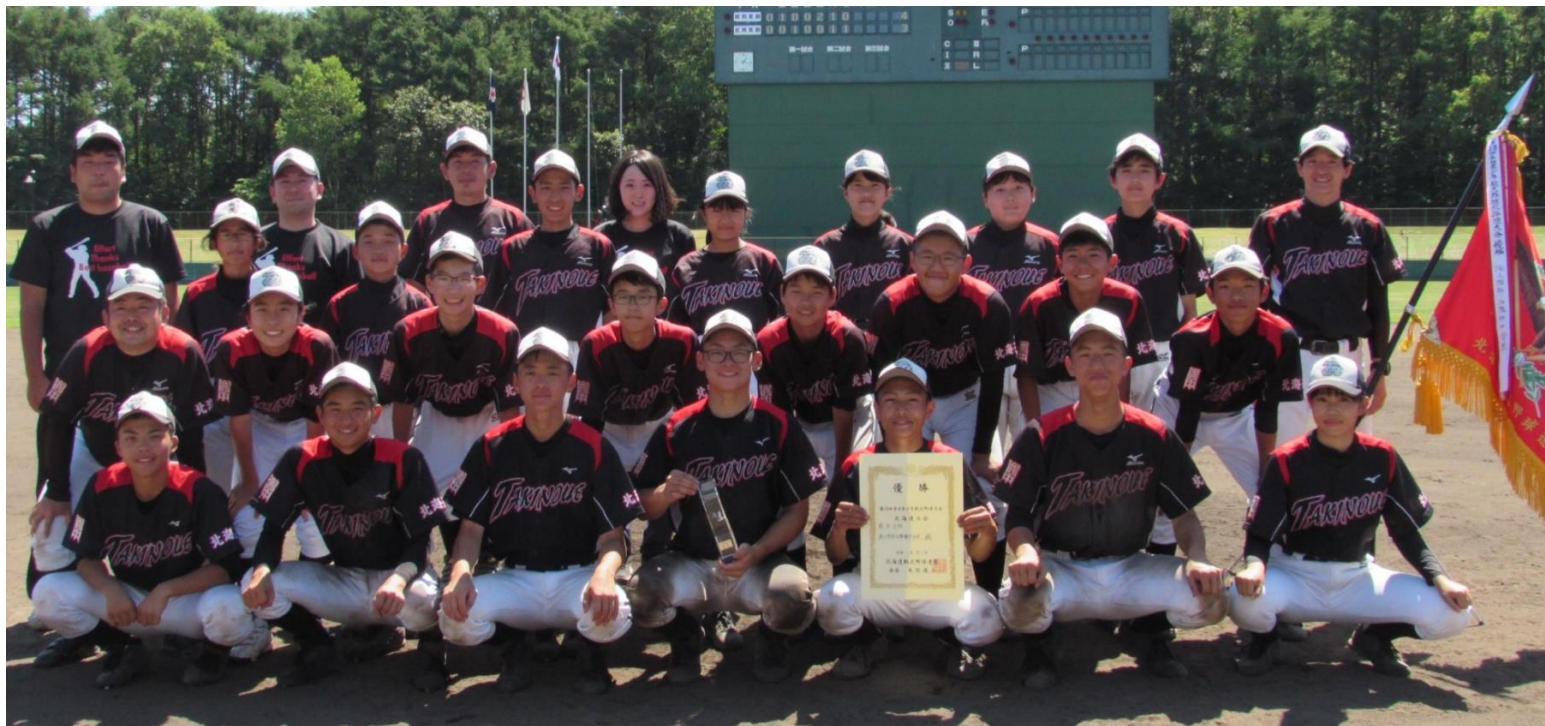
最終の七回は代った小森に対し一死後に代打の岩永が初球を中前打。続く代打佐藤の四球と太田の死球で一死満塁。ここで再度、六回まで64球を投じた橋場が登板すると杉本は3球で、島内は5球で連続空振り三振に終わり、6度の得点圏走者も三塁を踏んだのが最終回の一度だけで、8安打3四死球走者を出すも9残塁を喫し、無得点に終わった。

【波佐見中学校】	1	2	3	4	5	6	7
⑨ 太田涼介 (1)	Ⓚ	...	3FF	...	投内安	...	HP
①818 杉本唯人 (3)	Ⓚ	...	中安	...	5-3	...	Ⓚ
② 島内滉平 (3)	右越二	...	6F	...	...	中安	Ⓚ
③ 松田悠希 (3)	6F	...	1-3	...	...	6-4-3	...
⑦ 岳本晴斗 (2)	...	2FF	...	左安	...	中安	...
R 高川稔亜 (2)	...	...	...	...	...	...	...
171 杉本勇斗 (1)	...	...	...	...	...	...	...
④ 岩永一駿 (3)	...	Ⓚ	...	1-4B	...	1-3	...
⑧787 井関陽大 (2)	...	左安	...	1-3	...	...	4-3
⑥ 川口竜津 (3)	...	B	...	3F	...	...	...
H 岩永志遠 (3)	...	...	...	...	...	...	中安
⑤ 前川颯志 (2)	...	5C	...	...	1-3	...	...
H 佐藤迅将 (2)	...	...	...	...	...	...	B

【控え選手】一瀬千遙(3)、太田雅心都(3)、山下太一(2)、(2)、松尾悠斗(2)、長岡洲太(2)

岩永朔太郎(2)、木村隼斗(2)(監督)琴尾高志 (コーチ)中村元和、谷口潤吉

投手	波佐見	投球回数	打者	投球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
杉本唯	6回	0/3	19	100	6	5	4	3	3
杉本勇	1回		2	10	0	0	0	0	0



## 滝上・興部・西興部中学校(北海道)

### 【初出場】

滝上・興部・西興部中学校は3校の合同チームです。休日しか合同練習はできませんが、その時間を大切にしてきたので、顧問・選手・保護者のチームワークは抜群です。

北海道大会では、1試合平均1失点の堅い守りで勝利をつかみました。全国の合同チームに勇気を与えられるよう、北の大地から全国の舞台へ臨みます。

現在野球人口の減少が大変危惧されており、今後全国で合同チームが増えてくると思います。3校合同チームで全国に出場したチームは今までにないと思いますので合同チームでも全国で活躍できることを証明し、全国の合同チームに勇気を与えます。



## 波佐見町立波佐見中学校(長崎県)

### 【3回目】

平成26年度に、今大会で先輩方が優勝されています。先輩方の偉業に近づけるよう「日本一のチームプレー」で心を一つに、周囲に感動を与えられる試合を目指します。

私たちの町は全国でも有名な陶器の町、長崎県の波佐見町です「力の利あれど人の和に如かず」の言葉通り、「仲間意識」(和)を大切に日本一のチームプレーを目指して取り組んでいます。

7年前に今大会で全国制覇を成し遂げた先輩方を目標に、選手・保護者・指導者が三位一体となったチーム作りを行ってきました。周囲に感動を与えられるプレーを目指します。